

## 時 程 表

時限(時間)	講座名 / 担当教員 / 概要	講座名 / 担当教員 / 概要
<b>1限目</b> (11:00~12:30)	<b>薬学系基礎</b> 黒田 照夫  概要 自然界から得られるアセチルコリンに関係した物質講義1で化学構造を学んだアセチルコリンは、ヒトの生命反応において重要な働きを示す。そのメカニズムの解明には多くの“毒物”が研究上利用されてきた。この講義では、そのような物質が含まれる植物や、そのような物質を作り出す微生物に焦点を当てて解説し、自然界と薬学のつながりを概説する。	<b>数理・システム系基礎</b> 山川 純次  概要 コンピュータに接続した機器と情報を送受信し動作を制御するために必要となるプログラミング手法の基礎についてPureDataを使った音響合成を例に解説する。
~昼休憩(12:30~13:30)~		
<b>2限目</b> (13:30~15:00)	<b>薬学系基礎</b> 上原 孝  概要 アセチルコリンの生理的作用と役割 アセチルコリンは神経伝達物質であり、神経終末から放出されると多彩な生理反応を引き起こす。その作用は受容体と呼ばれるアンテナ/鍵穴のような物質を介して行われる。このような応答を分子レベルで解説する。	<b>生物系基礎実験</b> 西村 美保  概要 光合成色素の分離 植物の光合成の仕組みについて学ぶ。光合成色素は光合成反応に利用する光を吸収したり、酸化還元反応をしたり、強い光が照射された時に生じる損傷から植物細胞を保護したりする役割を果たしている。植物に含まれる光合成色素の種類をペーパークロマトグラフィー法によって調べ、分光光度計の取り扱いを習得する。
~休憩(15:00~15:10)~		
<b>3限目</b> (15:10~16:40)	<b>薬学系基礎</b> 上原 孝  概要 アセチルコリンと薬 講義3で解説したアセチルコリンの生理作用を基にして、色々な薬(毒も含む)が開発されてきた。アルツハイマー病、パーキンソン病、重症筋無力症、胃潰瘍、喘息などに有効な薬を紹介し、その作用を理解する。	<b>生物系基礎実験</b> 西村 美保  概要 2限目と同じ

↑ ※選択講座となります ↑